（様式1）

学校番号	18	学校名	茨城県立緑岡高等学校

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領

校訓

誠実　進取　協和

学校の教育目標

文武不岐の伝統精神のもと、高い知性とたくましい心を持つ生徒を育成し、一人一人の希望を実現するとともに、社会に貢献する人材を輩出することにより、地域社会から支持・信頼される学校を目指す。

生徒の実態

校是の文武不岐を体現している生徒が多い。学業にも特別活動にも全力を尽くそうとする傾向がある。部活動は活発であり、行事(緑高祭、緑歩会、ｸﾗｽﾏｯﾁ)へは意欲的に参加する。自己の将来を切り拓くために情報収集に努める。生徒に対する支援として、自学自習の場所を提供したり、進路について考えるため大学見学会、進路講演会等を実施している。校則に違反する生徒は少ない。

保護者の願い

水戸地区の進学校の一つとして、保護者からの信頼は厚く、勉学だけでなく、将来を担うたくましい人材の育成に期待を寄せている。

道徳教育重点目標

①豊かな心を育み、自己の人生を積極的に切り拓く力を身につける。
②人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う。
③真の友情を育み、互いに励まし合い、高め合う気運を育てる。
④集団の意義について理解を深め、役割と責任を持ち、他者との協力関係の向上に努める。

地域の実態

県庁に近く、50号ﾊﾞｲﾊﾟｽに隣接しており、発展のめざましい笠原の地に学校は位置している。また、地域からの信頼も厚く、期待されている。

各教科・科目

国語	思考力・表現力・洞察力を伸ばし、心情を豊かにする。
地歴	歴史的思考力、地理的思考力を養い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
数学	数学的な見方と考え方のよさを認識し、数学の楽しさ素晴らしさに感動する。
理科	基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。
保体	生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を高める。
芸術	芸術を愛好する心情を育て、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を高める
外国語	積極的にｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとする態度を養い、異なる文化を理解し尊重する態度を育てる。
家庭	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
情報	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的知識と技術を習得する。
総合的な探究の時間	変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・人間としての望ましい生き方を自覚する民主的な人間関係を育てる。
・集団生活を楽しく豊かなものにするために、進んで力をつくそうとする態度を養う。
・心身の調和のとれた発達をはかるとともに、自主的な進路を選択する能力を養う。

道徳プラスを2学年で年間10回程度行う。

公民科

公共

人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。

・広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ，理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

・確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむ

生徒指導

「制服をきちんと着る」「校則を守る」をはじめ、高校生らしい清潔な身だしなみができるようにし、基本的な生活習慣を確立させ、規律正しい学校生活ができるように努める。互いに個性を尊重して、健全な人間関係の構築を図れるようにする。清掃や整理整頓を心がけ、生活環境を整備する。

家庭との連携

家庭と密に連絡をとり、生徒の動向について、保護者と情報の共有化をはかるように努める。また、生徒の進路実現に向けて、保護者と協力して、最大限に努力する。

地域社会との連携

生徒達の豊かな心を育てるため、自然社会文化などに直接触れたり感動を覚えたりするような体験活動を組織的に展開する。これらの活動の充実に向け、地域社会が互いに信頼を深め、協力体制を構築する。